

職場体験 感想文コンクール2024

タイトル	体験から将来への希望、コミュニケーション	事務局	401
学校名	新庄市立萩野学園	氏名	佐藤有馬

僕は、山形航空電子 第二工場の製造三部でコネクタ製造を主に体験しました。僕は機械の部品へのしくみに関心があり、自分の興味のある分野で将来について考えてみたいと思い、山形航空電子での職場体験をすることになりました。会社社員の松田さんは、インターシップの監とくとして、航空電子の会社の規模やコネクタの様々な種類、中学生にとって大切なことについてなど、これから生かしていける知識をくわしく教えてくださいました。工場で、製品(コネクタ)を手作業で製造するとき、最初は製造を間違えてしまうのではないかと少し不安でしたが、担当の方が、一つ一つの作業をていねいにやさしく教えてくださいました。僕は無事に言われた通りの作業を何回もくり返すことができました。体験二日目の昼も、「午後からもがんばってね」と声をかけてもらい、仕事する職場での元気をもらいました。「仕事について、丁寧に取り組んでいた」とほめてもらい、本当に嬉しかったです。工場ではお客さんに届く製品を清潔に、衛生的にするため、製造部の方々は気を払うことが必要であり、自動車部品は人の命をあずかるので、丁寧な仕事をすることの重要性が分かりました。職場体験前の僕にとって山形航空電子は、日本国内の規模へコネクタを提供する小さめの会社というイメージがありました。しかし実際は、コネクタを製造するだけでも、多くの人材と工場が必要であり、航空電子が、世界へ最先端のコネクタを次々と提供するという技術力があることを知り、感重くなりました。

松田さんへのインタビューで、今の中学生に臨むことをお聞きした時の「今の勉強を頑張ること」、「いろいろむことにチャレン

「コミュニケーションが大切」というお話していただいたことが大変印象深かったです。僕は、人とのコミュニケーションが不得意で、いつも自分から話を振ったり、会話したりすることが苦手でした。しかし、今回の職場体験を通して、将来人とのコミュニケーションがとても重要だということを知り、今の時期からもっと人とのコミュニケーションを大切にしていこうと思うきっかけとなりました。

自分のやりたいことがまだ決まっていなかった僕でしたが、今回の経験を生かして、みんなで力を合わせてこれからの学園生活を充実させること、そして、自分の進路について今から考えていくことを頑張っていきたいと思いました。